

● 春の野菜を味わう会 9日（日） 里山農園で開催

里山の年度オープンの春の野草を味わう会を行う季節になりました。例年ですと3月末には桜の開花があって華やいだ気分になるのですが、今年は一向にそうならないようでした。しかし季節は着実に春本番目指して動いています。里山農園に会場を移して4回目となりました。この時期桜が満開のころは雨も絶えず降り続きますので大型テントを張って準備しますが、これも大事です。里山農園では大きな屋根と床板が準備されているので、事前準備の手間が大きく省く事ができます。収納庫が作られたので、後始末もその場で収納となりますから、手間が随分と省けることになりました。今年は床板の塗装ができて素晴らしい会場に生まれ変わりました。その上これまでなかった流し台も設置され、使い勝手が非常によくなりました。城陽市のある自治会から寄贈いただいた組み立てテントを使い、焼き肉パーティのコンロやテーブルの配置、その周りに折り畳みいすを並べると八割がた設営完了となります。調理台や物置台に会議机を配置で会場設営完成です。これまでに比べて随分と合理化できるようになりました。景色は新緑が芽吹き始め、鶯の鳴き始めが響き渡ります。新緑いっぱいの元気あふれる雰囲気が出現しました。開会の挨拶に引き続き野草摘みに出かけます。40分ほどの行動でしたが、なんと28種類の新芽豊かな野草を摘み取りました。天ぷらや和え物に料理していただきました。ここ里山農園の周囲の整備を始めて、タラの木が随分と生育し大切に育てました・今年から中学生になる中西康太君が痛いところをかいぐって集めてくれたので、超高価なタラの芽をいただくことができました。これだけでも満足です。カラシナの和え物も大変おいしかったです。摘み取った野草27種全ての天婦羅を全員が心おきなく味わいました。そして炊き立てのホカホカのご飯も自分でよそっていただきました。こんなにおいしいご飯を口にしたのは近頃なかったほど大変おいしかったです。集まった皆さんはほとんどが孫の手が離れ、日常生活は向かい合ってお二人の食事の場面ですので、大勢の方々とにぎやかに食事をする場面がなくなって、久しぶりの食事会が楽しかったようです。

事務局会議での反省での意見は参加者が少なかった原因は家を出るときに雨が降っていれば躊躇されるのが普通で、雨の中から出かけるなどはしないのが普通です。里山の会の皆さんは、慣れてしまって雨にも負けずの気持ちで普通に出てこられるようになっているのです。一般の人より少し神経が図太くなっているのだという意見がありました。

それにしてもこれだけ多くの野草を味わうことができる里山農園は素晴らしい環境を持っている場所だと思います。10数年前笹竹に覆われて、人が入ることなどとてもできなかったこの場所が、再生復元され、多種多様な植物が繁茂することなど想像もできなかったことです。自然の再生がこのように進ぶことに驚いたという意見もありました。今年参加できなかった皆さん来年には必ず連れ合って参加してください。心からお待ちしています。

● 河川協力団体への報告書提出

淀川河川事務所から河川協力団体の年間活動の報告が求められてきました。報告項目事業の数は19項目がありました。そのほか日数で見ると木津川の植物写真撮影にお二人で80日は軽く突破しています。また植物観察や管理については報告から省きました。改めて数えてみると相当回数の関わり日数になりました。いずれにしてもこれまでこのように報告書の提出が求められたのは初めてのことなので、正確な数字をはじき出すことは困難でしたが、相当数の出勤となりました。

● **年間活動計画の重点について** 新年度の活動方針のうち重点項目を拾ってみますと次のようになりました。

①里山農園の維持管理と各種イベントの開催をし、その内容の充実を計る ②河川協力団体活動の重視で、生育植物のうち貴重植物の維持管理保全作業の確実な実施、③会員拡大 ④レンジャーの増員に向かって発掘を ⑤三川合流地点での活動重視 ⑥県外学習研修会の実施などが重点とされるようです。特に会員拡大については緊急性が求められています。なぜなら最盛期から 100 名ほどの退会者があって、補強が進んでないのことが明らかにされました。その結果基本財政の根幹の会費の減少となります。年間 60 万円の事務所維持経費が必要となっています。加えて里山農園では、販売用野菜は栽培しないという方針が提起されていますので、必然的に予算収入の減収となります。会員減少は財政悪化を招き、存続継続が立ち行かない可能性を持った致命傷となる状況にあります。会員各位及び社員各位の皆様はこの点をしっかり自覚いただくことをお伝えいたしておきます。本腰を入れた会員確保に取り組んでいただきますようお願いいたします。

● **第 23 回通常総会の開催** 29 日（土）午前 10 時～正午 会場：里山農園教育棟でと計画しています。これまで京田辺市中央公民館を会場にしていまいりましたが、今回は教育棟の実現 3 年目であり床板の粗相も美しく出来上がったところですので、開催会場を一新して出発点とするにふさわしい会場ではないかと思います。会員の皆さん、万難を排してご出席をお願いします。

● **29 年度京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金の申請項目を検討始まる**

29 年度の募集が始まりました。これまで里山の会は木津川での植物調査管理を主として資料の収集を行い普及と啓発そして学習の素材としてまとめてまいりました。やっとこれまで目標としてきた成果物が完成の一段階をマスターできたのではないかと思います。29 年度からはいよいよ新段階に足を踏み出すことになります。次に掲げた課題について交付金申請をと考えられます。①京都府水辺の子どもたち交流会の開催（三川合流地での開催）②夜の生き物調査（キャンプの実施）③竹蛇籠製作講習会の開催（水牛杵工の制作に向けての試行）④里山農園教育棟の充実（掲示板と説明板の新設）⑤カスミサンショウウオの生息地の整備（枯れ木の伐採と除去及び環境自動測定器の設置）などを考えています。会員各位の積極的なアイデアがあればご提案をお願いいたします。

● **会誌製本作業日 28 日（金）** 10 時～15 時 300 冊製作 現在編集中です。積極的なご協力をお願いいたします。この日には全会員へ発送します。併せて当面のイベントチラシや会費納入案内などを織り込みます相当な事前準備を整えます

● **木津川希少植物維持管理地 82 ヲ所の明示看板貼り付け作業** しっかり木津川の希少植物の維持管理を行う初めの一年として正確な分布をおさえるために、最初の作業となります。お力をお貸してください。

● **雲ヶ畑自然散策と諸団体の活動交流会 30 日** 午前 9 時集合 保全管理に取り組んでおられる現地を訪ねて、活動の展開や情報などの共有を図り、自然環境の保全や地域との連携や知識を学びあいます。午前 8 時 40 分北大路南東角を出発します。参加申し込みが必要です。定員を 40 人とされています 交通費負担参加費無料 地元の有識者がガイドいただきます。主催 自然環境保全京都府ネットワークが行う初行事です。

● **春のハイキング 5 月 7 日実施予定** コース検討中